

◇ 医学教育研究室セミナー

「米国における救急医学教育」

時 間：2009年7月13日（月）17:00～18:30

場 所：千葉大学医学部第一講義室

千葉大学では現在イリノイ大学シカゴ校（UIC）との交換留学制度に基づいて、毎年3、4名の6年次学生がUICでクリニカル・クラークシップを受けています。皆さんの中にも、米国での臨床研修に関心を持っている人が多数いると思います。そこで、皆さんの先輩にあたり、現在アメリカのメイヨークリニックでレジデントとして活躍中の志賀隆先生をお招きし、アメリカにおける臨床研修についてお話していただきます。



志賀 隆 先生

（米国・メイヨークリニック救急部）

2001年千葉大卒。

東京医療センターで初期研修修了。

在沖米国海軍病院，浦添総合病院救急部を経て、06年から09年まで米国ミネソタ州メイヨークリニックにて救急医学研修。

8月よりマサチューセッツ総合病院にて指導医として働きつつハーバード大学医学部にて医学教育について学ぶ予定。

<志賀先生からのメッセージ>

日本の医療は平均寿命、乳幼児死亡率、周産期死亡率、費用対効果の素晴らしさからWHOに世界のモデルとして取り上げられています。しかし、すべてが順調であるかというところではないようです。訴訟の問題、救急患者受け入れの問題、勤務医の労働環境など問題は色々とあります。教育に関しても、卒後臨床研修必修化以降色々と変化がありますが、急激な変化に伴う問題もあるようです。米国でも週間労働時間80時間ルールなど卒後臨床研修を取り巻く環境は常に変わっています。各国の医療制度を科学的に比較することは難しいですが、お互いから学ぶことはあると思います。今回は米国における救急医学教育の紹介から、今後の日本の卒後医学教育の目指すべき方向をみなさまと検討させていただければと存じます。

◆お問い合わせ 医学教育研究室 田村 裕

E-mail: yutaka_tamura@faculty.chiba-u.jp